

(第 1 号議案)

2024 年度事業報告

(2024 年 3 月 1 日から 2025 年 2 月 28 日まで)

一般社団法人溶接学会

(第1号議案) 2024年度 事業報告
(2024年3月1日から2025年2月28日まで)

本会は、2024年度において次の事業を行った。

I 事業報告

1. 全国大会（定款第4条1項）

1.1 春季全国大会

2024年4月22日～4月24日：阪大中之島センター（大阪市北区）

特別講演・シンポジウム、フォーラム（溶接冶金研究委員会主催）、若手の会イブニングフォーラム（若手会員の会主催）を開催した。

研究発表講演（74件）、特別講演・シンポジウム（計6件）、フォーラム（講演6件）、次世代を担う研究者助成事業の成果報告会（3件）、若手の会イブニングフォーラム（参加17名）

参加者 364名

1.2 秋季全国大会

2024年9月4日～6日：北海道科学大学（札幌市手稲区）

特別講演、支部主催のワークショップ（日本溶接協会との共催）と技術セッション（北海道溶接協会協賛）、若手の会 ポスターセッション（若手会員の会主催）、木原賞・金澤賞業績講演（溶接接合工学振興会との共催）、次世代を担う研究者助成事業の成果報告会（日本溶接協会との共催）を実行した。

研究発表講演（220件）、ポスター発表（78件）、特別講演（1件）、ワークショップ（講演7件）、技術セッション（講演3件、北海道新幹線札幌トンネル星置工区見学）、木原賞・金澤賞業績講演（3件）、次世代を担う研究者助成事業の成果報告会（3件）、展示ブース（15社）、

参加者 519名

2. 講習会（定款第4条1項）

2.1 2024年度溶接入門講座（第60回）

会期 2024年6月3日（月）、7日（日）

会場 ハイブリッド方式にて開催

受講者 31名

2.2 2024年度溶接工学夏季大学（第72回）「中堅技術者講座」

会期 2024年7月22日（月）～8月5日（月）

会場 オンデマンド配信方式にて開催

受講者 27名

2.3 2024年度溶接工学専門講座（第11回）

軽構造接合加工研究委員会と溶接教育委員会の共同開催

ものづくり力伝承講座－軽構造物の軽量化に向けた接合技術を極める－

会期 2024年10月2日（水）

会場 大阪大学 医学・工学研究科 東京ブランチ

受講者 27名

2.4 2024年度溶接工学企画講座（第6回）

編集委員会と溶接教育委員会の共同開催

「ものづくりのベースとなる研究・開発のレビュー&トレンド～「固相接合プロセス」～

会期 2024年12月4日（水）

会場 大阪大学 医学・工学研究科 東京ブランチ

受講者 16名

3. 刊行（定款第4条3項）

3.1 溶接学会誌 93巻2号～94巻1号（8冊）

主な内容 特集、展望、レビュー&トレンド、溶接・接合基礎講座、実験指南、集まれエンジニア、受賞者講座、随筆他

3.2 溶接学会論文集 42巻2号～43巻1号（4冊）（WEB）

主な内容 研究論文12篇（2025.1.30現在）

3.3 全国大会講演概要集 第114集および第115集（2冊）

3.4 2023年度溶接工学夏季大学教材「溶接中堅技術者講座」

4. 研究活動（定款第4条1項）

4.1 研究推進部会（山本 元道 部会長）

WEB開催1回、対面開催1回で会合を開催し、各研究委員会の活動状況の把握及び調整、アドホック研究会の活性化、全国大会運営の活性化、論文特集号、専門講座の計画を行った。

- (1) 春季全国大会においてフォーラム「ステンレス鋼溶接のイノベーションとクリーンエネルギーへの貢献」（溶接冶金研究委員会）を、オンラインによって開催した。
- (3) 軽構造接合加工研究委員会が企画し、2024年10月2日に溶接工学専門講座「ものつくり力伝承講座～軽構造物の軽量化に向けた接合技術を極める～」を開催した。
- (4) 溶接構造研究委員会主催で、2023年11月28～29日に「カーボンニュートラル社会を担う溶接構造化技術」溶接構造シンポジウム2023を対面形式（大阪大学）開催した。
- (5) マイクロ接合研究委員会とスマートプロセス学会エレクトロニクス生産科学部会との共同主催で、2025年1月28～29日に第31回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム（Mate2025）を対面形式（横浜市）開催した。
- (6) 編集委員会から要望のあった特集号企画に対して、特集号（年1回程度）を各研究委員会が持ち回りで受け持ち、論文特集号をオーガナイズすることになった。2024年度は、第5回目となり、溶接構造研究委員会・溶接疲労強度研究委員会が担当し、24報の論文が掲載された。
- (7) アドホック研究会「大型構造物の製作、維持管理における溶接プロセスの高精度、高機能化」 東康二（崇城大）（2022年3月1日～2023年9月30日）

2024年3月1日に国際ジョイントセミナー「Hungary-Korea-Japan Joint Seminar on Design, Fabrication and Maintenance of Welded Steel Structures」をオンラインで開催した。2024年4月23日に第1回研究会を開催し、IIW2024にて研究発表を行う予定となる論文2編について、その概要を共有、発表の可否を審査、決定した。2編は2024年7月7～12日IIW2024 C-XVにて発表された。2024年10月1日に第2回研究会を開催した。「Hungary-Korea-Japan Joint Seminar on Design, Fabrication and Maintenance of Welded Steel Structures」を2025年2月26日にオンラインにて開催することを決定した。

4.2 溶接構造研究委員会（中谷光良委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第250回	2024.04.18	大阪	27	研究報告 4件 日本船舶海洋工学会と合同開催
第251回	2024.05.15	大阪	13	研究報告 5件
第252回	2024.08.26	大阪	24	研究報告 3件
第253回	2024.11.12	山口	16	研究報告 3件 UBEマシナリー見学
第254回	2025.01.21	大阪	27	研究報告 4件

4.3 溶接法研究委員会（田中学委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第265回	2024.05.08	東京 ハイブリッド	57	研究報告 5件
第266回	2024.08.07	大阪 ハイブリッド	71	研究報告 5件
第267回	2024. 10.29～30	岡山 ハイブリッド	21、70	研究報告 4件 JFEスチール見学
第268回	2025.01.28	東京 ハイブリッド	78	研究報告 6件

4.4 溶接冶金研究委員会（佐藤裕委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第257回	2024.05.16	東京	29	研究報告 5件
第258回	2024.08.19	大阪	27	研究報告 5件
第259回	2024.10.23	茨城	22	研究報告 3件

				日立建機 見学
第 260 回	2025. 01. 21	東京	25	研究報告 4 件

4.5 溶接疲労強度研究委員会（穴見健吾委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第 281 回	2024. 04. 26	東京	25	研究報告 5 件
第 282 回	2024. 08. 02	東京	20	研究報告 19 件
第 283 回	2024. 11. 01	大阪	11	研究報告 1 件 コマツ 見学
第 284 回	2025. 01. 31	東京	18	研究報告 5 件

4.6 高エネルギービーム加工研究委員会（塚本雅裕委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第 105 回	2024. 06. 09	大阪	20	研究報告 4 件
第 106 回	2024. 10. 23	神奈川	27	研究報告 3 件 (株)アマダ 見学
第 107 回	2025. 02. 05	東京	19	研究報告 4 件

4.7 軽構造接合加工研究委員会（藤井英俊委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第 145 回	2024. 06. 18	東京	39	研究報告 6 件
第 146 回	2024. 09. 11	大阪	32	研究報告 5 件
専門講座	2024. 10. 02	東京	27	軽構造物の軽量化に向けた接合技術を極める
第 147 回	2024. 11. 21	兵庫	34	研究報告 2 件 川崎重工業 見学
第 148 回	2025. 01. 22	東京	36	研究報告 5 件

4.8 マイクロ接合研究委員会（福本信次委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第 145 回	2024. 05. 24	東京	26	研究報告 6 件
第 146 回	2024. 07. 19	東京	27	研究報告 6 件
第 147 回	2024. 09. 13	東京	27	研究報告 6 件
第 148 回	2024. 11. 15	東京	29	研究報告 6 件
シンポジウム	2025. 01. 28～29	横浜	457	Mate2025 シンポジウム

4.9 界面接合研究委員会（山崎敬久委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第 126 回	2024. 05. 31	東京	25	研究報告 5 件
第 127 回	2024. 10. 18	東京	31	研究報告 6 件 日本溶接協会先端材料接合委員会と合同
第 128 回	2025. 01. 24	東京	24	研究報告 4 件

5. 国内活動（定款 4 条項 4）

5.1 日本溶接会議 (JIW) の活動援助を行った。

5.2 共催、協賛、その他

日本学術会議材料工学委員会、日本非破壊検査協会、日本溶接協会、日本高圧力技術協会、腐食防食学会、日本機械学会、軽金属溶接協会、日本材料学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、自動車技術会、日本工学会、その他関係学協会の活動に協力した。

- (1)協賛：(一社) 軽金属学会「第 132 回シンポジウム カーボンニュートラルに対応する自動車へのアルミニウム活用最前線」(2024. 08. 02)
- (2)協賛：(一社) 日本溶射学会「アジア溶射会議 2024 (ATSC2024)」(2024. 12. 11～12. 13)
- (3)協賛：(公財) 日本材料学会「第 36 回疲労シンポジウム」(2024. 09. 18～09. 19)
- (4)協賛：(公財) 日本材料学会「第 14 回材料の衝撃問題シンポジウム」(2024. 10. 08～10. 09)
- (5)協賛：(一社) 日本検査機器工業会「第 12 回総合検査機器展 JIMA2024」(2024. 09. 18～09. 21)
- (6)協賛：(一社) 日本工業炉協会「第 5 回工業炉・関連機器展&シンポジウム サーマルテクノロジー 2024」(2024. 10. 10～10. 11)
- (7)後援：(公財) 燕三条地場産業振興センター「燕三条ものづくりメッセ 2024」(2024. 10. 24～10. 25)
- (8)協賛：(一社) 日本材料学会「第 10 回材料 WEEK」(2024. 10. 08～10. 10)
- (9)後援：(一社) 日本溶接協会「構造・材料分野におけるリスク活用に向けた取り組みと課題」(2024. 07. 16)
- (10)協賛：(一社) 日本材料学会「第 6 回 EBSD 法による損傷評価講習会」(2024. 10. 08～10. 09)
- (11)協賛：(一社) 日本材料学会「第 54 回初心者のための有限要素法講習会 第 1 部」(2024. 08. 21～22)
- (12)協賛：(一社) 日本材料学会「第 54 回初心者のための有限要素法講習会 第 2 部」(2024. 09. 05～09. 06)
- (13)協賛：(一社) 日本材料学会「2024 年技能検定講習・技能検定試験」(2024. 10. 24～25, 11. 1)
- (14)協賛：(一社) 日本保全学会「第 20 回学術講演会」(2024. 08. 05～08. 08)
- (15)協賛：(一社) 日本溶接協会「デジタルラジオグラフィに関する技術講習会」(2024. 07. 9～07. 10)
- (16)協賛：(一社) 日本溶接協会「溶接トラブル事例に学ぶステンレス鋼の有効活用と信頼性確保」(2024. 08. 08)
- (17)協賛：(公社) 腐食防食学会「第 94 回技術セミナー」(2024. 07. 31)
- (18)協賛：(一社) 日本機械学会「第 15 回最適化シンポジウム 2024」(2024. 10. 26～10. 27)
- (19)協賛：(公社) 日本ガスタービン学会「第 52 回日本ガスタービン学会定期講演会」(2024. 10. 23～10. 24)
- (20)協賛(一社) 日本機械学会「第 31 回 機械材料・材料加工技術講演会 (M&P2024)」(2024. 11. 01～11. 03)
- (21)協賛(公社) 腐食防食学会「第 49 回コロージョン・セミナー」(2024. 10. 29)
- (22)協賛(公社) 腐食防食学会「第 95 回技術セミナー」(2024. 09. 24)
- (23)協賛(公社) 腐食防食学会「第 71 回材料と環境討論会」(2024. 11. 13～11. 15)
- (24)協賛(一社) 軽金属学会「軽金属学会第 147 回秋期大会」(2024. 11. 08～11. 10)
- (25)協賛(一社) スマートプロセス学会「2024 年度スマートプロセス学会学術講演会」(2024. 11. 15)
- (26)協賛(一社) 日本高圧力技術協会「オンライン技術セミナーワークショップ」(2024. 09. 26)
- (27)協賛(一社) 日本高圧力技術協会「オンライン技術セミナー材料の損傷・破壊の基礎知識とその適用」(2024. 07. 11～07. 12)
- (28)協賛特定非営利活動法人日本船舶海洋工学会「第 31 回海洋工学シンポジウム～未来をひらく海～」(2025. 03. 17～07. 18)
- (29)協賛(一社) エレクトロニクス実装学会「第 34 回マイクロエレクトロニクスシンポジウム MES2024」(2024. 09. 11～09. 13)
- (30)協賛(公社) 日本材料学会「第 62 回高温強度シンポジウム」(2024. 11. 21～11. 22)
- (31)協賛(公社) 日本材料学会「腐食防食部門委員会第 356 回例会「溶接と腐食の基礎および溶接部の腐食事例」」(2024. 09. 30)
- (32)協賛(公社) 日本材料学会「第 43 回初心者のための疲労設計講習会」(2024. 09. 03～09. 04)
- (33)協賛(公社) 日本材料学会「第 10 回初心者にもわかる信頼性工学セミナー (オンライン)」(2024. 09. 03～09. 04)

24. 08. 29～08. 30)

- (34) 協賛(一社) 軽金属溶接協会 「アルミニウムろう付技術基礎講習会」 (2024. 10. 8)
- (35) 協賛(一社) 日本機械学会 「クリープおよび高温疲労・熱疲労の基礎」 (2024. 10. 17)
- (36) 協賛(一社) 日本複合材料学会 「第 49 回複合材料シンポジウム」 (2024. 09. 20～09. 21)
- (37) 協賛(公社) 日本材料学会 「第 35 回信頼性シンポジウム」 (2024. 12. 20～12. 21)
- (38) 協賛(一社) 日本非破壊検査協会 「第 24 回アコースティックエミッション総合コンファレンス」 (2024. 09. 26～09. 27)
- (39) 協賛(一社) 日本溶接協会 「熱切断作業の品質と安全講習会」 (2024. 10. 29)
- (40) 協賛(一社) 日本計算工学会 「オータムスクール 2024 非線形有限要素法による弾塑性解析の理論と実践」 (2024. 10. 24～10. 26)
- (41) 協賛(一社) 日本高圧力技術協会 「HPI 技術セミナー 水素技術基礎講座－安全な機器運用のために－」 (2024. 11. 12)
- (42) 協賛(一社) 軽金属学会 「第 2 回 国際連携を見据えたマグネシウム・チタン若手研究会」 (2024. 11. 29)
- (43) 協賛(一社) 軽金属学会 「2024 年度軽金属基礎技術講座 「アルミニウムの製造技術」 」 (2024. 11. 21～11. 22)
- (44) 協賛(一社) 日本非破壊検査協会 「第 2 回 NDE4.0 シンポジウム」 (2024. 12. 20)
- (45) 協賛(一社) 日本溶接協会 「第 1 回 AM World セミナー」 (2024. 10. 15)
- (46) 後援(公財) 日本溶接協会 「溶接接合工学振興会 第 33 回セミナー」 (2024. 11. 14)
- (47) 協賛(公財) 日本材料学会 「2024 年度 JCOM 若手シンポジウム」 (2024. 12. 11～12. 13)
- (48) 協賛(公財) 日本材料学会 「腐食防食部門委員会第 357 回例会」 (2024. 11. 29)
- (49) 協賛(公財) 日本材料学会 「「第 21 回ノートパソコンで出来る原子レベルのシミュレーション入門講習会」 (2024. 12. 11～12. 12)
- (50) 後援(一社) 日本溶接協会 「原子力プラント機器の健全性評価に関する講習会」 (2024. 11. 27～12. 1. 28)
- (51) 後援(一社) 日本溶接協会 「GX に向けた自動車分野の溶接接合技術の展開」 (2024. 11. 12)
- (52) 協賛(一社) 日本塑性加工学会 「『2025 年度塑性加工春季講演会』」 (2025. 05. 14～05. 16)
- (53) 協賛(一社) 日本機械学会 「AI, リモート時代の資料作成, プレゼン技術」 (2024. 11. 20)
- (54) 協賛(一社) 日本高圧力技術協会 「保全分野への AI 適用」 (2024. 12. 10)
- (55) 協賛(公財) 腐食防食学会 「第 50 回腐食防食入門講習会」 (2024. 12. 10)
- (56) 協賛(一社) 日本材料学会 「第 61 回 X 線材料強度に関する討論会-LAbX 線はどこまで進化するか？」 (2025. 01. 24)
- (57) 協賛(一社) 日本非破壊検査協会 「第 32 回超音波による非破壊評価シンポジウム」 (2025. 01. 21～01. 22)
- (58) 協賛(一社) 日本機械学会 「もう一度学ぶ機械材料学（金属材料の基礎）」 (2024. 12. 17)
- (59) 協賛(公社) 日本ガスタービン学会 「第 53 回ガスタービンセミナー カーボンニュートラル社会に向けたガスタービンの取り組みと最新技術動向」 (2025. 01. 30～01. 31)
- (60) 協賛(公社) 日本非破壊検査協会 「第 28 回 電磁気応用部門・磁粉・浸透・目視部門・漏れ試験部門合同シンポジウム 表面探傷技術による健全性診断、品質検査」 (2025. 03. 17)
- (61) 後援(一社) 日本溶接協会 「異材・肉盛溶接とクラッド鋼の溶接書籍発刊記念セミナー」 (2025. 01. 29～01. 30)
- (62) 後援(一社) 日本溶接協会 「建築鉄骨の溶接の勘所」 (2024. 12. 16)
- (63) 後援(一社) 高輝度光科学研究センター (JASRI) "「第 106 回 SPring-8 先端利用技術ワークショップ X 線非弾性散乱を利用した構造材料評価」" (2024. 12. 3)
- (64) 協賛(公社) 腐食防食学会 「第 200 回腐食防食シンポジウム」 (2025. 2. 6)
- (65) 協賛(一社) 日本複合材料学会 「日本複合材料会議 (JCCM-16) 」 (2025. 02. 27/7～03. 01)
- (66) 協賛(一社) 日本原子力学会 「原子力総合シンポジウム 2024」 (2025. 01. 20)
- (67) 協賛(一社) レーザ加工学会 「LAMP2025 第 9 回レーザ先端材料加工国際会議」 (2025. 06. 10～06. 13)
- (68) 協賛(一社) 軽金属学会 「アルミニウムの?素脆化・応?腐?割れの最前線」 (2025. 03. 11)
- (69) 協賛(一社) Techno-Ocean 2025 実行委員会事務局 「Techno-Ocean 2025」 (2025. 11. 27～11. 29)
- (70) 後援(一社) 日本溶接協会 「第 2 回 AM World セミナー ～新 AM プロセスの可能性～」 (2025. 02. 21)
- (71) 協賛(一社) 日本非破壊検査協会 「先進赤外線計測技術と応用に関する国際シンポジウム—AIT A2025 —」 (2025. 09. 15～09. 19)

- (72) 協賛(一社)日本計算工学会「第30回計算工学講演会」(2025.06.04~06.06)
- (73) 協賛(一社)日本材料学会「トポロジー最適化の基礎～積層造形によるものづくりへの応用～」(2025.03.13~03.14)
- (74) 協賛特定非営利活動法人画像センシング技術研究会「SSII2025(第31回画像センシングシンポジウム)」(2025.05.28~05.30)
- (75) 協賛(一社)日本非破壊検査協会「第55回 応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウム」(2025.01.11)
- (76) 協賛(一社)日本塑性加工学会「第76回塑性加工連合講演会」(2025.09.24~09.25)
- (77) 協賛(一社)エレクトロニクス実装学会「2025 International Conference on Electronics Packaging and iMAPS All Asia Conference(ICEP-IAAC)」(2025.04.15~04.19)
- (78) 協賛(公財)日本材料学会「腐食防食部門委員会第359回例会」(2025.03.17)
- (79) 協賛(公財)日本材料学会「X線材料強度に関するシンポジウム」(2025.07.24)
- (80) 協賛(一社)日本溶接協会「LMPシンポジウム2025 レーザ加工技術の基礎・応用と最新動向」(2025.03.04~03.05)
- (81) 協賛(一社)日本溶接協会「第2回圧力設備の溶接設計施工テキスト講習会」(2025.03.06~03.07)
- (82) 協賛(公財)自動車技術会「第23回 学生フォーミュラ日本大会 2025—ものづくり・デザインコンペティション」(2025.09.08~09.13)
- (83) 協賛(公社)日本工学会「第6回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム」(2025.03.04)
- (84) 協賛(一社)日本接着学会「第63回日本接着学会年次大会」(2025.06.30~07.01)

5.3 次の学協会と機関誌を交換し研究連絡、情報交換を行った。

学協会名	誌名	学協会名	誌名
軽金属学会	軽金属	日本鋼構造協会	J S S C
軽金属溶接協会	軽金属溶接	日本鉄鋼協会	鉄と鋼
高圧ガス保安協会	高圧ガス	日本鉄鋼協会	ふえらむ
電気学会	電気学会誌	日本鉄鋼協会	ISIJ International
土木学会	土木学会誌	日本溶接協会	溶接技術
日本機械学会	日本機械学会誌	日本船舶海洋工学会	KANRIN(咸臨)
日本金属学会	まとりあ	日本接着学会	日本接着学会誌
日本建築学会	建築雑誌	日本非破壊検査協会	非破壊検査

6. 國際活動(定款4条項4)

6.1 國際溶接学会 (IIW) 関連

日本溶接会議 (JIW) の活動を通じて、国際溶接学会 (IIW) の活動に参加した。2024年第77回年次大会は、ギリシャ ロードス島で開催され、参加登録者は51カ国から871名となった。ドイツからの参加は155名で一番多かった。中国は132名、ギリシャ128名、日本は86名、アメリカ81名、韓国が68名である。

6.2 アジア溶接連盟 (AWF) 関連

4月に大阪(日本)にて、11月にはクアラルンプール(マレーシア)にて対面の会議を持った。

6.3 機関誌の交換

次のとおり機関誌を交換し、研究情報の交流を推進した。なお、交換した機関誌は溶接会館図書室にて開示している。

誌名	国名
Schweiss- & Pruftechnik	オーストリア
Soldagem & Inspecao	ブラジル
Welding and Cutting	ドイツ
DVS MAGAZIN	〃
Hitsaus Tekniikka	フィンランド
Rivista Italiana della Salddatura	イタリア
Sudura	〃
Lastechniek	オランダ
Biuletyn(Instytutu Spawalnictwa)	ポーランド
Welding & Material Testing	ルーマニア
Svetsaren	スウェーデン
Welding International	イギリス
Weldpoint	シンガポール

II 会務報告

1. 第92回 定時総会

1. 日時： 2024年4月22日(月) 10:30～12:00
2. 開催場所： 大阪大学 中之島センター (大阪府大阪市北区中之島4-3-53)
議決権を有する者：代議員(社員) 85名

出席 21名

委任状 50名

合計 71名

議事

- | | |
|--------------------------------|----|
| ① [第1号議案] 2023年度事業報告承認の件 | 承認 |
| ② [第2号議案] 2023年度決算報告の承認 | 承認 |
| ③ [第3号議案] 監査報告 | 報告 |
| ④ [第4号議案] 溶接学会フェロー規定の改定の件 | 承認 |
| ⑤ [第5号議案] 2024・2025年度理事・監事選任の件 | 承認 |
| ⑥ 2024年度事業計画の件 | 報告 |
| ⑦ 2023年度予算の件 | 報告 |
| ⑧ 名誉員・特別員の推薦及び表彰の件 | |

特別員の推薦

・鴨 和彦、武内 清

溶接学会業績賞

・高橋 邦夫

溶接学会論文賞並びに論文奨励賞

溶接学会論文賞

・高橋 一比古

・澤西 央海、松田 広志、沖田 泰明、池田 倫正

溶接学会論文奨励賞

・松田 和貴、佐原 直樹

溶接学術振興賞

・山口 富子

溶接学会ベストオーラー賞

・中村 敬人、山下 賢、高橋 慎司、永井 卓也

・門井 浩太

溶接技術奨励賞

北海道支部：本間 祐太

東北支部：茂田 正哉

東部支部：橋場 裕治

東海支部：安井 利明

北陸支部：推薦なし

関西支部：藤本 光生

中国支部：推薦なし

四国支部：水口 隆

九州支部：杉村 忠士、村上 幸治

溶接技術普及賞

北海道支部：安藤 朝夫

東北支部：鳴海 忠蔵

東部支部：推薦なし

東海支部：河西 文男

北陸支部：推薦なし

関西支部：推薦なし

中国支部：河吉 利幸

四国支部：石村 晃久、第十 忍

九州支部：北岡 昭二郎、坂元 勝志

溶接学会優秀研究発表賞

2023年度 春季全国大会

・野口 昂裕、渡邊 健太郎、濱名 晃平、鈴木 聖顕

2023年度 秋季全国大会

・山路 幸毅、立花 隼人、舛田 陽祐、佐藤 裕太、天野 晋作、前田 新太郎

溶接学会優秀ポスター発表賞

・三輪 真聖、丸本 啓太、松田 隆平

溶接学会優秀高校生ポスター発表賞

・鈴木 橙哉、鳥居純

溶接学会シンポジウム賞

溶接構造シンポジウム賞

シンポジウム論文賞

・萱森陽一、誉田登

・高木芳史、崎本隆洋、植田圭治、伊木聰、森影康、半田恒久

シンポジウム奨励賞

・小貫翔馬

・伊藤環

Mate 2024

・高橋 弘樹、鈴木 慧太、喜多村 明、遠藤 哲郎、高橋 良和

Mate 2024 奨励賞

・松尾 圭一郎 (株東芝)

・中 亮太 (奥野製薬工業株)

溶接学会奨学賞

北海道支部：推薦なし

東北支部：謝 崴穎

東部支部：小山 真里奈、藤田 慎之介

北陸支部：推薦なし

東海支部：森田 寛己、盛井 政伸

関西支部：山内 悠暉、中菊 光太、中野 涼介、土井 央一、山下 時哉、矢後 裕基

中国支部：齋藤 陸

四国支部：福家 育実、秦 斗哉

九州支部：寺辻 和陸、佐々木 洋

⑨ 感謝状贈呈

北陸支部 (2023年度秋季全国大会開催担当)

2. 理事会 (定例 6 回)

本年度の主な議題・決議事項

(1) 2023 年度事業報告・決算、2024 年度事業計画・予算

- ① 2023 年度事業報告・決算について承認し、定時総会に諮ることとした。
- ② 2024 年度事業計画・予算について承認し、定時総会に報告することとした。
- ③ 2026 年度に迎える溶接学会創立 100 周年に向け特別事業会計を設置した。

(2) 学会組織運営

- ① 2023 年度各賞授賞審査委員長を指名し、審査委員会について承認した。

(3) 学会活性化・効率化

- ① 2024 年度名誉員・特別員を推薦し、2024 年度各賞受賞者について承認した。
- ② 春季全国大会時の特別講演「日本鉄鋼業における水素活用プロジェクト」・シンポジウム「ゼロカーボン発電を支える溶接・接合技術」を開催した。
- ③ 秋季全国大会時の特別講演として、「宇宙産業展望と民間企業によるロケット開発」を、日本溶接協会との共同企画としてワークショップ「北海道 GX における接合技術の役割と期待」と技術セッション「北海道新幹線を担う技術の最前線」を、溶接接合工学振興会授与の木原賞・金澤賞業績講演と日本溶接協会の次世代を担う研究者助成事業の成果報告会を開催した。
- ④ 経理担当者の退職に伴い、経理業務の外注を図った。

(4) 研究委員会活動

- ① 各研究委員会の活動はオンライン、オンライン併用等の形態で順調に活動が実施できている。
- ② Mate2024 シンポジウムを共同開催し、溶接学会シンポジウム賞授賞について承認した。

(5) 国際対応

- ① 日本溶接会議 (JIW) の活動を通じ、国際溶接学会 (IIW) の活動に参画した。第 77 回年次大会・国際会議 (ギリシャ大会) 2024 年 6 月 7 日～12 日、対面にて開催した。51 カ国から 871 名の参加者があり盛況であった。国内参加者は 86 名であった。
- ② 4 月に大阪 (日本) にて、11 月にはクアラルンプール (マレーシア) にて対面の会議を持った。

3. JIW 共同企画委員会

年度内 2 回の委員会を開催し、下記事項について検討を行った。

- (1) JIW 理事会に関する報告
2024 年 IIW 年次大会参加者数の報告。
- (2) 若手研究者への IIW 参加登録支援の報告
今年度の IIW 年次大会に JIW として参加登録料の支援を行った。支援の案内については溶接学会のマーリングシステムを使用し溶接学会会員へ案内を行った。
- (3) 積層造形技術での協力
日本溶接協会で実施を計画している積層技術に関する認証制度において溶接学会が学術部門へ協力することが要請された。

4. 業務委員会活動

4.1 企画委員会（藤井英俊 委員長）

年度内 5 回の定例委員会を開催し、学会の再活性化のために、以下の活動基盤強化アクションを展開した。

- (1) 日本溶接協会との関係強化統合アクション：ともに 2024 年 12 月に開催された本会及び日本溶接協会のそれぞれの理事会において、両法人の統合化を目指す方向性について同意された。双方が統合化に向けた正式な議論の場に着き、統合によるメリットおよびデメリットを精査しながら、具体的な合併案を検討する。2025 年 9 月の両理事会で合併案を承認後、総会での承認を得る方向性で進める。
- (2) 財務強化アクション：全国大会運営委員会、溶接教育委員会、財務強化委員会と連携して、2024 年度の学会活動の維持・発展と学会財務の健全性確保に取り組み、定例の全国大会、教育関連の各種講習会（入門講座、夏季大学、専門講座、企画講座）を企画し、開催した。全国大会の完全対面開催の復活や講習会の活況により、財政の健全化に努めた。また、財務強化委員会と連携して、2023 年度予算から『溶接学会 100 周年記念事業基金』を新設し、さらに、フェローの規定見直しに関わる WG での検討により、2024 年度から“寄付制度”から“特別年会費制度”に変更することで、若手育成および諸活動の財政基盤となる溶接学会記念基金の充実を図っている。
- (3) オンライン化アクション：以前に企画委員会内に設置されたオンライン化 WG で構築したオンデマンド方式オンライン会議システムを、溶接教育委員会と連携して各種講習会への活用を図った。
- (4) 全国大会アクション：春季全国大会、秋季全国大会とも、完全対面形式での開催を実現し成功裏に終えることができた。今後、これらの経験と知見を基に、オンライン開催の会員サービスや財務の観点からの利点を考慮しながらも、会員相互の学術交流の場の提供を最重視し、春季・秋季全国大会は完全対面形式で実施した。統合後は、日本溶接協会との連携、すなわち、各研究員会、各支部との連携の在り方などについて検討を進める必要がある。2026 年 4 月の東京ビッグサイトの利用不可（工事）への対応として、春季全国大会を大阪大学中之島センター、秋季全国大会を東京ビッグサイトで開催することを検討している。
- (5) 教育関連アクション：学会主催の講習会（入門講座、夏季大学、専門講座、企画講座）については対面開催を復活させ、入門講座では、オンラインシステムを活用しながら柔軟に開催した。夏季講座等では、デジタルコンテンツを活用しながら、受講者数の増加に向けた施策を検討した。
- (6) 編集出版アクション：学会誌内容の刷新（企画講座）、「溶接技術」誌との協業（寄稿）、論文集の活性化（特集号の刊行）を進めた。特に、溶接構造研究委員会・溶接疲労強度研究委員会との連携による特集号企画した。また、学会誌記事の一部を Web 配信することについて、会員の要望を反映している。
- (7) 論文査読・審査アクション：電子査読システム Editorial Manager の導入により、査読者への利便性と査読期間短縮を推進しながら、投稿原稿の書式、査読報告書書式、査読フローの見直しを行い、使いやすい電子査読システムへの改善検討を継続して行った。
- (8) 研究委員会アクション：論文集の活性化に向けた特集号の継続的な刊行を推進するため、研究委員会の持ち回り制を継続して遂行した。
- (9) 情報化アクション：溶接情報化委員会と連携しながら、学会ホームページをリニューアルし、会員へ提供する各種サービスの充実・強化を図った。
- (10) 國際交流アクション：本会の國際交流の在り方や海外に向けたサービスについて継続検討した。
- (11) 若手活性化アクション：若手会員の会主催によるイブニングフォーラム、オンラインを活用した勉強会、秋季全国大会ポスターセッションなどの企画・開催を推進した。また、グローバルネットワーク活動を本格的に再開し、国際会議参加費助成を行った。

4.2 溶接情報化委員会（平田 弘征 委員長）

本会の情報化方針をふまえて、本会の情報発信に関する以下の活動を実施した。

- (1) 学会活動の情報発信強化、セキュリティ対策の向上、会員・賛助員へのサポート向上等を目的に、学会ホームページを整備した。
- (2) 全国大会や講習会等の主催行事情報、日本溶接協会や軽金属溶接協会等の関連団体のリンク掲載や最新情報の提供などを随時実施し、学会HPの充実をはかった。
- (3) 本会の会誌、論文集、及び全国大会講演概要を、本会ホームページ(HP)からJ-STAGE(科学技術振興機構の総合学術電子ジャーナルサイト)にリンクを張って以下のように公開中である。
 - ・学会誌：創刊号～第94巻第1号(2025年度)までをJ-STAGEにアップロードして公開している。
 - ・論文集：第1巻(1983年度)～第43巻1号(2025年度)までをJ-STAGEにアップロード済みで、一般公開している。
 - ・講演概要：2003年度秋季大会～2024年度秋季大会までをJ-STAGEにアップロード済みで一般公開している。

4.3 編集委員会（佐藤 裕 委員長）

溶接学会誌ならびに溶接学会論文集の編集及び刊行を行った。論文集はWEB論文集として発行し、学会誌は第93巻6号(2024年9月)よりWEB版の運用を開始し、個人会員のみが会員マイページより会員認証を経て閲覧可能とした。

溶接学会誌は年8号を刊行し、下記に示す7回の特集と1回のレビュー&トレンドの企画を行った。タイトルは以下のとおりである。

- 「GX時代に向けた輸送機器分野の挑戦」
- 「高効率・高能率施工を支える材料科学」
- 「これから溶接・接合材料シミュレーションの担い手」
- 「圧力容器と溶接力学」
- 「溶接・接合をめぐる最新の動向」
- 「インフラ設備を支える補修溶接技術と企画動向」
- 「積層造形の新手法・解析の最前線」
- 「レビュー&トレンド：積層造形に関する最近の動向」

溶接学会誌各号の記事に対する学会員モニター115名によるアンケートを実施し、学会誌の内容充実に努めた。また、2023年のアンケート結果の取りまとめを行い、集計結果報告をVol.93, No.5に掲載した。アンケート結果も考慮して、年間の学会誌掲載記事より、ベストオーサー賞候補者2件を選考した。

溶接学会論文集での特集関連:企画委員会発議で、研究推進部会にて調整され、各研究委員会持ち回りにて企画することになった特集号では、第1回：溶接冶金研究委員会、第2回：溶接法研究委員会、第3回：軽構造接合加工研究委員会、第4回：マイクロ接合研究委員会と界面接合研究委員会に引き続き、溶接構造研究委員会と溶接疲労強度研究委員会が第5回を合同で担当し、24件の投稿があり、43巻1号(2025年)に掲載予定。2025年度は高エネルギービーム加工研究委員会が担当する。

Welding International(WI)誌への翻訳掲載動向:WIへの翻訳掲載も関して、溶接学会論文集Vol.42(2024年)の状況を以下に報告する。溶接学会論文集Vol.42のNo.1, 2, 3, 4に掲載の論文からそれぞれ2, 1, 0, 1論文が採択された。このうちNo.1および2の採択論文は翻訳、著者確認、Editor in Chief確認が終了し、WIのVol.38のNo.9-11に公開済である。

学会誌ビジョンWGによる「溶接学会誌」と「溶接技術」の協業:「溶接技術」に溶接学会から1頁の情報記事「溶接学会ニュース」を継続して寄稿中。寄稿記事内容は学会誌目次を中心に共通講座(入門講座、夏季大学)、分野別講座(専門講座)、企画講座、各支部、研究委員会情報などの発信で構成している。

溶接学会論文集年間論文受付件数:年間論文受付の変化(各分野、企業/中立機関別のまとめ)を編集委員会、企画委員会、理事会にて情報共有中である。

科学技術情報発信・流通総合システム(J-stage)にて、溶接学会誌は創刊号からを対象として、会員には発行直後から公開、非会員には発行日から5年経過後に公開、溶接学会論文集は創刊号からを対象として発行直後から一般公開している。

4.4 論文査読・審査委員会（山根 敏 委員長）

電子査読システムに関して、Editorial Manager のみとなり、特集号などにも対応できるようになった。本年度の特集号は溶接構造、疲労強度研究委員会の担当となっている。また、Express 投稿論文の査読者を確保しにくいため、本年度も Express 投稿論文の受付を停止している。年間論文受付数は溶接構造研究委員会・溶接疲労強度研究委員会の特別論文 24 件、Welding Letters の 1 件を含み 31 件であり、特集号を開始後、一昨年までは 40 件台を維持していたが、今回も、昨年と同様に少なくなった。昨年度と異なり、特集号では査読対象となる分野が絞られたため、原稿受付から掲載決定までの平均日数は、昨年度よりも少し長くなり、130 日であった。査読上の課題があり、論文原稿投稿著者および査読者が互いに敬意を払い査読回答の作成などを行うための査読マニュアルなどの作成にとりかかっている。論文査読に関する疑義照会があり、どのように対応していくかについての検討も行った。

4.5 全国大会運営委員会（伊藤 和博 委員長）

- (1) 年度内 2 回の委員会をそれぞれ WEB 会議と秋季全国大会会場の現地で開催し、2024 年度春季・秋季全国大会および 2025 年度春季・秋季全国大会の企画・運営について協議決定した。
- (2) 講演概要集第 114 集および第 115 集を編集発行した。
- (3) 2024 年度秋季および 2025 年度春季全国大会プログラムを編成した。
- (4) 2024 年度秋季全国大会を対面で開催するにあたり、北海道支部全国大会実行委員会と協力しながら企画イベントの運用方針を整備した。支部行事の技術セッション、ワークショップに加え、溶接接合工学振興会授与の木原賞・金澤賞業績講演と日本溶接協会の次世代を担う研究者助成事業の成果報告会を開催した。秋季全国大会のポスター発表会場にて開催地の北海道科学大学との高大連携高から 5 件の発表をしてもらう新規企画を行った。
- (5) 2024 年度春季および秋季全国大会研究発表の「溶接学会優秀研究発表賞」、ならびに 2024 年度秋季全国大会研究発表の「溶接学会優秀ポスター発表賞」と「溶接学会優秀高校生ポスター発表賞」の審査を実施した。
- (6) 優秀な口頭発表に対する「エクスプレス・WL」投稿の無料特典者の推薦制度について、2024 年度春季全国大会において 2 件、2024 年度秋季全国大会において 6 件の推薦を決定した。これに伴い、学会事務局より該当者へ推薦の通知を行うとともに、「エクスプレス・WL」投稿の特典（1 年間有効）を贈呈した。
- (7) 2024 年度秋季全国大会にて、「積層造形：5 セッション」4 件を実施した。
- (8) 2024 年度秋季全国大会において、北海道支部の「技術セッション」、「ワークショップ」（日本溶接協会と協力）を開催した。
- (9) 2024 年 4 月 24 日（水）13:00-17:00、に、国際ウエルディングショーアー会場にて連合講演会（講演 6 件）を対面開催した。

4.6 溶接教育委員会（平田 弘征 委員長）

- (1) 年度内 2 回の委員会（4 月、9 月）を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討した。
 - (2) 2024 年度溶接入門講座を 1 回開催した。（前掲）
 - (3) 2024 年度溶接工学夏季大学を 1 回開催した。（前掲）
 - (4) 2024 年度溶接工学専門講座を 1 回開催した。（前掲）
 - (5) 2024 年度溶接工学企画講座を 1 回開催した。（前掲）
- なお、今年度はそれぞれの講習会をハイブリッド方式、オンデマンド配信方式、対面方式にて実施した。
- (6) 日本溶接協会との連携による国際溶接学会（IIW）溶接技術者資格制度特認 コースの試験が 1 回行われた。プロフェッショナル・インタビュー、プロジェクトワーク、最終筆記試験を実施し、IWE 14 名、IWT3 名、IWS 9 名がディプロマを取得した。
 - (7) 溶接学会各支部や研究委員会、日本溶接協会が企画・実施した講習会やセミナー、シンポジウムの IIW 履修ポイントについて、IIW 特認コース WG を通してアナウンスした。
 - (8) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会-教育機関（大学・高専・工業高校）の連携活動の一環として、大阪大学接合科学研究所の IIW-ATB 活動の支援を行った。その結果、IWE 3 名が最終筆記試験に合格し、ディプロマを取得した。
 - (9) 委員会内に設置した講習会 WG にて、講師の交代も含めた講習会のあり方について協議した。協議を継続し、今後の運営に反映する。
 - (10) 日本溶接協会と協力し、溶接・接合技術総論の改定を進めた。次年度内での出版に向けて引き続き協力する。

4.7 國際交流委員会（青山和浩委員長）

- (1) 日本溶接会議 (JIW) の活動を通じ、国際溶接学会（第 77 回 IIW 年次大会：6 月 7 日～12 日、ギリシャ）に参画した。47 カ国から 817 名が参加し、成功裏に終了した。
- (2) アジア溶接連盟 (AWF) は、4 月に大阪（日本）にて、10 月にはクアラルンプール（マニラ）にて対面の会議を持った。

5. 若手会員の会運営委員会（鶴田駿委員長）

5.1 若手会員のためのフォーラム

(1) 春季全国大会イブニングフォーラム

開催場所：大阪大学 中之島センター 第 2 会場 10 階 ホール 1～4
日時：2024 年 4 月 23 日（火）17:00～19:00

主題：若手研究者のライフイベントに応じた研究スタイル変化

開催方式：パネルディスカッション形式

パネラー：浅間 晃司 氏（三菱電機株式会社）、三輪 剛士 氏（株式会社神戸製鋼所）
武岡 正樹 氏（川崎重工業株式会社）、成田 麻未 氏（名古屋工業大学）
鶴田 駿 氏（東北大学）、庄司 博人 氏（大阪大学）
松田 朋己 氏（大阪大学）、山下 正太郎 氏（大阪大学）

(2) 秋季全国大会ポスターセッション・高校生ポスターセッション

日時：2023 年 9 月 5 日（木）17:00～19:00

開催場所：北海道科学大学 A 棟 2 階 A202・A203 講義室

発表件数：88 件（内高校生参加：5 名）

5.2 若手会員のための研究会

(1) 第 1 回研究会・施設見学会

見学先：株式会社名村造船所 伊万里事業所

日時：2024 年 6 月 11 日（火）13:00～16:30

研究発表：清水万真氏（大阪大学）、丸本啓太氏（広島大学）

(2) 第 2 回研究会・施設見学会

見学先：大阪大学大学院工学研究科 生産科学コース、接合科学研究所

日時：2024 年 11 月 27 日（水）10:00～16:00

場所：大阪大学 吹田キャンパス

講演：崔 正原氏（広島大学）、田中慶吾氏（大阪産業技術研究所）、松田朋己氏（東北大学）

5.3 グローバルネットワーク活動

(1) 国際会議参加費助成

佐原直樹氏（大阪大学）、佐藤祐理子氏（大阪大学）、竹中啓輔（接合科学研究所）

5.4 広報および情報交換

(1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集ページ」に、運営委員会、研究会・施設見学会の報告等を掲載した。

(2) 溶接学会誌の「スポットライト—若手の特集記事—」として「溶接タマゴ」および「私の溶接履歴」を 6 件、特集記事「少壮気鋭—海外留学に挑む若手研究者—」を掲載した。

(3) ホームページに活動報告、行事案内等を掲載した。

(4) メーリングリスト（E-mail）による情報交換を促進した。

有効登録者数約名 269（2025 年 2 月 28 日現在）

E-mail 投稿数約 6 通（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 2 月 28 日まで）

5.5 若手会員の会運営委員会

計 2 回の運営委員会を開催し、活動方針と企画について審議した。

(1) 第 70 回運営委員会

開催場所：大阪大学 中之島センター 6 階セミナー室 6D

日時：2024 年 4 月 23 日（木）12:15～12:50

出席：16 名（委任 10 名）

(2) 第 71 回運営委員会

開催場所：北海道科学大学 A 棟 3 階 A306 講義室

日時：2024 年 9 月 5 日（木）12:00～14:00

出席：21 名（委任 16 名）

5.6 若手出前講義

- (1) 訪問先：兵庫県立姫路工業高等学校
日時：2024年11月5日
担当者：山本啓氏（接合科学研究所）
- (2) 訪問先：佐世保工業高等専門学校
日時：2024年11月18, 19日
担当者：山下正太郎氏（大阪大学）
- (3) 訪問先：香川工業高等専門学校 高松キャンパス
日時：2025年1月22日
担当者：古免久弥氏（接合科学研究所）

6. その他の諸会合

支部長連絡会議（理事会合同開催） 2回（ハイブリッド開催、対面開催）

7. 会勢

会員数（2025年2月末現在）

	賛助員		個人会員						団体員	
	会員数	口数	名誉員	特別員	推薦会員	正員	学生員	合計	員数	口数
2021.2	326	751	32	71	10	2,155	216	2,484	23	23
2022.2	315	731	35	69	8	2,141	207	2,460	23	23
2023.2	315	730	35	71	7	2,094	212	2,419	22	22
2024.2	315	724	34	73	7	2,056	194	2,364	20	20
2025.2	311	705	33	74	8	1,467	162	1,744	20	20

III 2024年度 支部報告

1. 北海道支部（見山克己支部長）

1. 事業

1.1 2024年度技術講習会

本年度は全国大会開催のため未実施

1.2 見学会

本年度は全国大会開催のため未実施

2. 会務

2.1 2023年度支部商議員会並びに支部総会

2024年3月初旬メール審議にて実施した。

2.2 各賞授賞審査および選考

2023年度の各賞の審査および選考を書面審議により行った。

(1)溶接学会溶接技術普及賞 1名

(2)溶接学会溶接技術奨励賞 1名

(3)溶接学会北海道支部学生奨学賞 2名

2.3 表彰

(1) 2023年度溶接技術奨励賞

本間 祐太 氏 (日本製鋼所M&E株式会社)

支部総会の現地開催中止に伴い、賞状および副賞の郵送を以て表彰式に代えることとした。

(2) 2023年度溶接技術普及賞

安藤 朝夫 氏 (元札幌工営株式会社)

支部総会の現地開催中止に伴い、賞状および副賞の郵送を以て表彰式に代えることとした。

(3) 2023年度北海道支部学生奨学賞

柴田 和真 氏, 斎藤 拓未 (北海道科学大学工学部機械工学科)

賞状および副賞を推薦者の指導教官に郵送し、同校の学位授与式にて授与した。

(4) 2024年度 第30回北海道地区溶接技術競技大会

日時 :

(開会式) 2024年 6月 22日(土)

(競技会) 2024年 6月 23日(日)

(表彰式) 2024年 8月 1日(木)

場所 :

(開会式) 北海道立札幌高等技術専門学院

(競技会) 同上

(表彰式) ANAクラウンプラザホテル札幌

(一社)溶接学会北海道支部長賞および副賞を成績最優秀者2名に授与した。

・被覆アーク溶接の部 喜多濃 和也 氏((株)ササキ)

・半自動アーク溶接の部 橋本 直史 氏((有)アイテック)

2.4幹事会

2024年度は全国大会実行委員会と同時開催とした。

2.5 全国大会実行委員会

・第2回実行委員会

2024年4月5日(金) 16:30～17:30 Web開催

(議案) ワークショップ講師, 技術セッションの構成, 猥親会準備状況の確認

・第3回実行委員会

2024年6月6日(木) 15:00～16:10 Web開催

(議案) 事前準備事項確認, 支部主催行事の準備状況確認, 企業展示・広告について

・第4回実行委員会

2024年8月2日(金) 15:00～17:30 北海道科学大学現地開催

(議案) 運営マニュアル確認, 会場レイアウト確認

※ この他、協議案件ごとにメール審議を隨時実施。

2. 東北支部 (佐々木 正司 支部長)

1. 事業

1.1 第 36 回溶接・接合研究会

主催：溶接学会 東北支部

共催：秋田大学大学院理工学研究科

後援：日本材料学会東北支部

日時：2024 年 7 月 19 日 (金) 13:00 – 16:45

会場：秋田大学手形キャンパス地方創生センター 2 号館大教室

参加者数：26 名

(IIW 履修ポイント : 2.4pt (M1: 0.7 pt, M2: 1.5 pt, M4: 0.2 pt)、
WES クレジットポイント : 4 ポイント認定)

特別講演 1 件、講演 9 件

特別講演

「溶接アーク現象の未解明ファイル：タングステン電極の飛散現象」

大阪大学 理事・副学長 田中 学 教授

講演

- (1) 海洋生物付着防止表面処理技術の開発
岩手県工業技術センター ○園田 哲也、佐々木 龍徳、佐々木 駿、桑嶋 孝幸
- (2) 当社での溶接施工トラブル事例(SUS304+SS400 異材溶接の溶接割れ)
(株) ユーテック ○上野 智
- (3) 淡水系工業用水中における SUS304 母材/銳敏化材対の腐食挙動と微生物叢の解析
秋田大学 ○宮野 泰征、塩澤 冬愛
海洋研究開発機構 若井 曜
東北大学 鶴田 駿
- (4) 次世代パワー半導体向け Cu/Sn TLP 接合技術の低消費エネルギー化のための試み
秋田県産業技術センター ○黒沢 憲吾
秋田大学 大口 健一、福地 孝平
東電化工業(株) 和合谷 繁満、吉田 浩平
- (5) マルエージング鋼積層造形体の酸素濃度が及ぼす機械的特性への影響
岩手大学 ○中道 公雅、吉原 信人、水野 雅裕
岩手県工業技術センター 黒須 信吾
- (6) 高圧水素用ステンレス鋼ティグ溶接部のミクロ組織
東北大学 ○國岡 海咲、鶴田 駿、佐藤 裕
- (7) 富士高圧フレキシブルホース(株) 福田 知之、清木 晋一郎、仲原 知己、藤井 淳
Ag 系金属箔ろうを介した Cu/AlN 真空ろう付における接合界面のミクロ組織
東北大学 ○青山 悠人、鶴田 駿、佐藤 裕、須藤 祐司
- (8) 半自動溶接動作矯正システムの開発
青森県産業技術センター 八戸工業研究所 ○長谷川 謙、佐々木 正司、村井 博
- (9) CoCrFeMnNi ハイエントロピー合金を挿入した Al/Fe 異種金属接合
東北大学 ○早苗 拓哉、鶴田 駿、佐藤 裕
国立清華大学 蔡 哲璋

1.2 基礎セミナー

主催：溶接学会 東北支部

日時：2024 年 12 月 6 日 (金) 9:25 – 16:50

会場：秋田拠点センター・アルヴェ (秋田県秋田市)

参加者数：23 名

(IIW 履修ポイント : 3.6pt (M1: 1.1 pt, M2: 0.7 pt, M3: 0.8 pt, M4: 1.0 pt)、
WES クレジットポイント : 7 ポイント認定)

講演 4 件

- (1) 溶接法および溶接機器

秋田大学大学院理工学研究科 宮野 泰征

(2) 金属材料と溶接性ならびに溶接部の特性

東北大学大学院工学研究科 鶴田 駿

(3) 溶接構造の力学と設計

福島工業高等専門学校 鈴木 茂和

(4) 溶接施工・管理

福島労働基準監督署 村井 信昭

2. 会務

2.1 第 61 回商議員会

日時：2024 年 5 月 18 日（土）13:00～13:45

場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口

2.2 表彰

(1) 溶接技術奨励賞ならびに普及賞

2024 年 5 月 18 日（土）

商議員会に続けて表彰式を実施

2023 年度溶接技術奨励賞：1 名

2023 年度溶接技術普及賞：1 名

(2) 溶接学会本部および東北支部奨学賞

2024 年 5 月 18 日（土）

2023 年度溶接学会奨学賞（報告）：1 名

2023 年度溶接学会東北支部奨学賞（報告）：4 名

表彰日：2024 年 1 月 31 日（金）

2023 年度溶接学会東北支部奨学賞：4 名

2.3 総会：商議員会議事録抜粋を支部会員に電子メール送信もしくは郵送（2024 年 8 月 1 日付）

3. 東部支部（宮下幸雄支部長）

1. 事業

1.1 第 49 回溶接学会東部支部 実用溶接講座（対面）

主題：自動車製造を支える溶接技術

主催：溶接学会 東部支部

日時：2025 年 2 月 5 日（水）10:00～16:50

会場：本田技研工業㈱ 埼玉製作所 寄居工場（埼玉県大里郡寄居町）

参加者数：27 名

IIW 履修ポイント：1.5pt WES 更新ポイント：3 pt

講演 3 件および工場見学

(1) 自動車業界における高エネルギービーム加工のアプリケーション事例紹介

東成エレクトロビーム（株） 上野 邦香

(2) FSW に関するトピック

日本軽金属株式会社 堀 久司

(3) 企業価値を高める生産技術開発、量産の構え

本田技研工業（株） 石塚 久之

1.2 溶接学会東部支部 第8回 溶接・接合研究交流会

開催日時：2024 年 12 月 24 日（火）16:00～17:00

開催場所：対面/web方式によるハイブリッド開催

（一財）日本溶接技術センター 日本溶接構造専門学校

参加者：8名（対面5名、web方式3名）

講演：

1) 「溶接溶融池画像への敵対性ネットワークの応用」

埼玉大学 WANG GUIHE、山根 敏

2) 「ARグラスを用いた溶接技能サポートシステムの構築」

埼玉大学大学院 山田健太

3) 「ワイヤ供給を用いたチタンと鋼の異材レーザ溶接の試行」

産業技術総合研究所 濑渡直樹

1.3 地区講演会・講習会など

(1) 東京地区（地区委員長：笹木聖人（日鉄溶接工業））

本年度は実施せず。

(2) 神奈川地区（地区委員長：古川尚英（神戸製鋼所））

本年度は実施せず。

(3) 千葉地区 (地区委員長: 前田将克 (日本大学))

本年度は実施せず。

(4) 埼玉地区 (地区委員長: 金子裕良 (埼玉大学))

本年度は実施せず。

(5) 群馬地区 (地区委員長: 荘司郁夫 (群馬大学))

群馬産業技術センター見学会とデジタルソリューション体験会

開催日時: 2025年1月14日(火)14:00~16:00

開催場所: 群馬産業技術センター

参加者: 14名

内容: 群馬産業技術センターの見学とデジタルソリューションラボ(DSL)でのデジタルソリューション体験

(6) 栃木地区 (地区委員長: 菅野金一 (関東職業能力開発大学校))

本年度は実施せず。

(7) 茨城地区 (地区委員長: 宮城雅徳 (日立製作所))

本年度は実施せず。

(8) 山梨地区 (地区委員長: 宮川和幸 (山梨県産業技術センター))

本年度は実施せず。

(9) 長野地区 (地区委員長: 西澤淳 (角藤))

本年度は実施せず。

(10) 新潟地区 (地区委員長: 宮下幸雄 (長岡技術科学大学))

新潟地区講演会

主催: (一社)溶接学会 東部支部、(公社)日本材料学会 北陸信越支部、(公財)燕三条地場産業振興センター

開催日時: 2024年10月25日(金) 13:00~16:00

開催場所: (公財)燕三条地場産業振興センター リサーチコア7F マルチメディアホール

(新潟県三条市須頃1-17)

参加者: 50名

題目: 「溶接の評価技術と技能伝承」

講演:

1) 「材料と溶接接合部の分析からわかること -ものづくりに役立つ分析解析調査技術-」

コベルコ溶接テクノ株式会社 技術開発室長 岡部 俊明 氏

2) 「電位差法を用いたスポット溶接の非破壊評価法」

電子磁気工業株式会社 開発部開発課 課長 岩田 成弘 氏

3) 「DXを活用した溶接の技能伝承」

株式会社Creative Works 代表取締役社長 宮本 卓 氏

4) 個別質問 (全講師)

2. 会務報告

2.1 2024度支部通常総会

開催日時: 2024年6月19日(水)12:00 ~ 2024年6月27日(水)17:00

開催場所: メール会議

議題:

1) 2023年度 事業報告および会務報告 (報告事項)

2) 2023年度 支部決算報告 (報告事項)

3) 2023年度 監査報告 (報告事項)

4) 2024年度 事業計画 (報告事項)

5) 2024年度 収支予算 (報告事項)

2.2 常任幹事・地区委員長会議

第219回 2024年6月28日(金) 16:00~17:00 web会議

第220回 2024年8月30日(金) 15:00~17:00 ハイブリッド(対面/web会議)

第221回 2024年10月24日(金) 10:45~12:30 ハイブリッド(対面/web会議)

第222回 2024年11月27日(水) 16:00~17:00 web会議

第223回 2024年12月24日(火) 15:00~16:00 ハイブリッド(対面/web会議)

第 224 回 2025 年 2 月 25 日 (火) 16:00~17:00 web 会議

2.3 各賞受賞審査委員会

2024 年度 溶接学会 東部支部 各賞審査委員会を下記のように組織し、書面審査した。

・審査委員会：瀬渡直樹 委員長、金子裕良 委員、金丸周平 委員、北野萌一 委員、橋場裕治 委員、古川尚英 委員 (6 名)

審査期間：2024 年 12 月 27 日 (金)~2025 年 1 月 21 日 (金)

審査結果報告：2025 年 1 月 27 日 (月)

審査の結果、2024 年度各賞候補者をそれぞれ下記の各氏 (敬称略) にすることを決定した。

【溶接技術奨励賞】

渡邊信也 氏 (本田技研工業 (株))

【溶接技術普及賞】

薩田寿隆 氏 (神奈川県立産業技術総合研究所)

【溶接学会奨学賞】

片山太郎 氏 (群馬大学大学院)

2.4 表彰

1) 2023 年度 溶接技術奨励賞、溶接技術普及賞の表彰

2024 年 7 月表彰状を推薦者に送付し、推薦者から下記受賞者に表彰状を授与して表彰した。

【溶接技術奨励賞】

橋場裕治 氏 (日本製鉄 (株))

【溶接技術普及賞】

なし

2) 2023 年度溶接学会奨学賞の表彰

2024 年 3 月楯を推薦者に送付し、推薦者から下記受賞者に楯を授与して表彰した。

【溶接学会奨学賞】

藤田慎之介 氏 (埼玉大学大学院)

小山真里奈 氏 (群馬大学大学院)

4. 東海支部 (植松美彦 支部長)

1. 教育・研究事業

1. 1 溶接研究会、溶接技術講習会

(1) 溶接研究会

第 106 回 令和 6 年 9 月 17 日 (火) 13:15~17:00

開催場所：名古屋駅前イノベーションハブ会議室 (ウインクあいち 15F)

参加者：21 名

研究会テーマ 「LCA の最近の動向と CN を支える溶接・接合技術」

「LCA で考える持続可能性」

産業技術総合研究所 畑山 博樹 氏

「カーボンニュートラルに向けたガスタービン開発と AM 技術」

三菱重工業株式会社 本山 宜彦 氏

「次世代革新炉の実現に向けた溶接技術開発の現状紹介」

株式会社 IHI 増田 真也 氏

「核融合実験炉 ITER の溶接技術 - 中心ソレノイド用導体の溶接について -」

日鉄エンジニアリング株式会社 木坂 有治 氏

107 回 令和 7 年 1 月 7 日 (火) 13:05~16:45

開催場所：ウインクあいち 1007 会議室

参加者：18 名

研究会テーマ 「接合継手と非破壊検」

基調講演：「赤外線計測による接合部材の非破壊評」

神戸大学 阪上 隆英 氏

「マイクロマグネティクス法を用いた抵抗スポット溶接の非破壊評価法」

構造計画研究所 上谷 佳祐 氏

「AE による溶接の健全性評価」

SETLa 西本 重人 氏

「レーザ超音波法による薄板溶接部の内部診断ロボットシステムの開発」

ダイヘン 新田 誠也 氏

2. 会務

2. 1 令和 6 年度支部総会および特別講演

日時：令和 6 年 6 月 7 日（水） 15:10 ~ 16:35

開催場所：名古屋市工業研究所 電子技術総合センター 1F 視聴覚室

参加者：10 名

総会議題

1) 令和 5 年度事業報告及び決算報告

2) 令和 5 年度溶接学会技術賞支部授賞式：

溶接技術奨励賞受賞者： 安井利明君

溶接技術普及賞受賞者： 河西文男君

3) 令和 6 年度事業計画案及び令和 6 年度予算案

5) その他

特別講演

「豊橋技術科学大学における摩擦攪拌異材接合への取り組みについて」

豊橋技術科学大学名誉教授 安井 利明 氏

2. 2 支部商議員会

第 1 回支部商議員会

日時：令和 6 年 6 月 7 日（水） 13:30 ~ 15:00

開場所：名古屋市工業研究所 電子技術総合センター 1F 視聴覚室

参加者：8 名

3. その他 協賛行事等

なし

5. 北陸支部(伊藤 勉支部長)

1. 事業

1.1 講演会

(1) テーマ 「異材溶接・接合の勘所」

日時 令和 6 年 12 月 17 日(火) 14:00~16:00

場所 富山県産業技術研究開発センター(高岡市)

講師 大阪大学 接合科学研究所 准教授 門井浩太氏

参加者 30 名

(2) テーマ 「摩擦攪拌現象を利用した異材金属及びアルミ合金の接合技術開発」

日時 令和 7 年 1 月 30 日(木) 14:00~16:00

場所 富山県産業技術研究開発センター(高岡市)

講師 広島県立総合技術研究所東部工業技術センター 加工技術研究部長 坂村 勝氏

参加者 35 名

2. 会務

2.1 幹事会・商議員会

2025 年 3 月 24 日にメール審議にて開催。

議事：2024 年度活動報告

2025 年度事業計画、予算案について

6. 関西支部（山口耕作支部長）

1. 事業

1.1 2024 年度講演会

日時：2024 年 5 月 22 日（水） 14:00～14:30

場所：Microsoft Teams によるオンライン開催

出席者：19 名

講演件数：1 件

- ・半導体デバイスに活用される拡散接合技術と原子スケールシミュレーションの取り組み

（大阪大学接合科学研究所 畿 裕章 氏）

1.2 2024 年度講演・見学会、技術交流会

日時：2024 年 12 月 10 日（火） 14:00～15:15（講演会）、15:30～17:00（工場見学会）、17:30～19:30（技術交流会）

場所：株式会社ダイヘン 六甲事業所

出席者：7 名

講演件数：2 件

- ・高能率 TIG 溶接システム「PLASMA JET TIG」のご紹介

（株式会社ダイヘン 今井 雄太 氏）

- ・超硬合金のレーザ肉盛中の気泡発生機構に基づくポロシティ低減粉末の開発

（大阪産業技術研究所 田中 慶吾 氏）

工場見学会：テクニカルセンター、「ロボットがロボットを作る」工場見学

2. 会務

2.1 2024 年度幹事会

日時：2024 年 5 月 22 日（水） 13:00～14:00

場所：Microsoft Teams によるオンライン開催

出席者：19 名

議事：

- (1) 2023 年度幹事会議事録について
- (2) 2023 年度事業報告について
- (3) 2023 年度支部決算報告、監査報告について
- (4) 2023・2024 年度支部体制について
- (5) 溶接学会関西支部規約について
- (6) 2024 年度事業計画について
- (7) 2024 年度予算案について
- (8) 2024 年度講演・工場見学会について

7. 中国支部（崎野良比呂支部長）

1. 事業

1.1 溶接接合工学学修会（第 22 回）

- (1) 開催日時：2024 年 7 月 11 日（木）

- (2) 場所：RCC 文化センター（対面とオンラインのハイブリッド、参加者 33 名）

- (3) 講義内容

(a) 溶接構造物の損傷例及び溶接法および溶接機器

(b) 溶接構造の力学と設計

(c) 金属材料と溶接性ならびに溶接部の特性

- (4) 講師：山本元道（広島大学）

1.2 2024 年度見学会（第 23 回）

- (1) 開催日時：2023 年 6 月 18 日（火）

- (2) 場所：株式会社日本製鋼所 広島製作所（広島県広島市）（参加者 50 名）

1.3 溶接学会中国支部主催「第 9 回 学生発表会」

- (1) 日時：2024 年 12 月 26 日（木）

- (2) 開催場所：広島大学ライブラリーホール

- (3) 参加者：46 名

- (4) 口頭発表 (14 件)
- (5) ポスター発表 (18 件)

2. 会務

2.1 支部幹事会

2.1.1 第1回 (支部商議員会・総会を同時開催)

日時：2024年3月28日（木）15：00～17：00

場所：ハイブリッド開催 (RCC 文化センター)

議事：

- (1) 2022 年度事業報告
- (2) 2022 年度決算報告
- (3) 2022 年度支部表彰報告
- (4) 2023 年度の支部体制
- (5) 2023 年度事業計画
- (6) 2023 年度収支予算
- (7) その他

2.1.2 第2回

日時：2025 年 1 月 24 日（金）

場所：メール審議

議題：

- (1) 2023 年度支部表彰について
- (2) その他

2.2 支部総会

日時：2023 年 3 月 30 日（木）15：00～17：00

場所：ハイブリッド開催 (RCC 文化センター)

議事：

- (1) 2022 年度事業報告
- (2) 2022 年度決算報告
- (3) 2022 年度支部表彰報告
- (4) 2023 年度の支部体制
- (5) 2023 年度事業計画
- (6) 2023 年度収支予算
- (7) その他

2.3 表彰

(1) 2023 年度溶接技術普及賞

河吉 利幸 氏 (豊国工業 (株))

(2) 2023 年度溶接学会奨学賞

齋藤 陸 氏 (岡山大学大学院)

(3) 2023 年度溶接学会中国支部 山本正登奨学賞 (11 名)

(4) 2023 年度溶接学会中国支部 最優秀ポスター発表賞

三宅 陸斗 氏 (広島大学大学院)

(5) 2023 年度溶接学会中国支部 優秀ポスター発表賞 (16 名)

溶接技術普及賞は 2024 年 3 月開催の支部総会において表彰

上記(2)～(5)の学生表彰は 2024 年 3 月に賞状・記念品を推薦者に送付し、修了式時に表彰

8. 四国支部（日野孝紀支部長）

1. 主催事業

1.1 第 28 回溶接学会四国支部講演大会

日時：2023 年 3 月 3 日（金）13：00～15：45

場所：(一社)溶接協会四国地区溶接技術検定委員会

講演数：7 件

参加者：20 名

講演内容：

- 1) 二相ステンレス鋼の溶接金属の水素集積に及ぼす金属組織の影響

- 新居浜高専 ○秦斗哉, 真中俊明, 藤岡章太, 日野孝紀
四国溶材株式会社 中村優佑, 宇野正記
- 2) IR 法を用いた疑似火星大気中における交流 GTA の電子密度分布計測
香川高専 ○梶井皓太, 福家育実, 佐立優心, 正箱信一郎, 山下智彦,
大阪大学 古免久弥, 田中学
- 3) ラングミュアプローブ法を用いた疑似火星大気における直流 GTA の計測
香川高専 ○福家育実, 梶井皓太, 佐立優心, 正箱信一郎, 山下智彦
大阪大学 古免久弥, 田中学
- 4) ラングミュアプローブ法を用いた疑似火星大気中の交流 GTA 計測システムの検討
香川高専 ○佐立優心, 福家育実, 梶井皓太, 正箱信一郎, 山下智彦
大阪大学 古免久弥, 田中学
- 5) レーザ照射による A2024 の溶体化処理と自然時効
阿南高専 ○岡谷蒼馬, 立石学, 安田武司, 西本浩司
新居浜高専 真中俊明, 九州大学 井原史朗
- 6) 低変態温度溶接材料を用いて作製した溶接金属中の溶存酸素量と余盛形状の関係
愛媛大学 ○川口宗一郎, 飯田康太郎, 水口隆
阿南高専 西野精一, 西本浩司
- 7) マグ溶接用ソリッドワイヤを用いた溶融金属積層造形物の試作
愛媛大学 ○水口隆, 柳原右京

1.2 見学会

日時：2024年11月22日（金）10:00～12:00

場所：四国化工機株式会社

参加者：30名

1.3 第32回溶接学会四国支部溶接技術実用講座

共催：（一社）日本非破壊検査協会四国支部

日時：2023年11月22日（金）13:30～17:00

場所：徳島県立工業技術センター

参加者：28名

IIW 履修ポイント：1.8 pt (M2 : 0.6 pt, M4 : 1.2 pt)

WES 更新ポイント：4 pt

講演内容：

- 1) アーク溶接のインプロセスマニタリングと DX
浅井 知氏 (大阪大学接合科学研究所 特任教授)
- 2) ステンレス鋼溶接のトラブル事例とその対策
葛西省五 氏 (橋本鉄工株式会社 技術顧問)
- 3) 溶接構造物の非破壊検査について
横野泰和 氏 (ポニー工業株式会社 顧問)

1.4 刊行

出版物：(1) 第29回溶接学会四国支部講演大会概要集(PDF配布)

(2) 第32回溶接技術実用講座講演資料(PDF配布)

2. 会務

2.1 2024-2025年度 第1回幹事会

日付：2024年3月9日（土）11:30-12:10

場所：（一社）溶接協会四国地区溶接技術検定委員会

審議幹事：9名

議題：

- 1) 2022-2023年度事業および会務報告
- 2) 2022-2023年度収支決算報告および監査結果報告
- 3) 2024-2025年度事業および会務計画
- 4) 2024-2025年度四国支部役員

2.2 2022-2023年度第2回幹事会

日時：2023年11月22日（金）12:15-13:00

場所：徳島県立工業技術センター

審議幹事：12名

議題：

- 1) 2024年度予算状況の途中報告

- 2) 他支部の活動状況
 - 3) 次回支部行事
 - 4) 2024年度学会賞四国支部推薦
3. 表彰者
- | | |
|---------------|----------------------|
| 2023年度溶接技術奨励賞 | 水口 隆 氏 (愛媛大学) |
| 2023年度溶接技術普及賞 | 石村晃久 氏 (株式会社 SKK) |
| 2023年度溶接技術普及賞 | 第十 忍 氏 (第十工業株式会社) |
| 2023年度奨学賞 | 福家育実 氏 (香川高等専門学校) |
| 2023年度奨学賞 | 秦 斗哉 氏 (新居浜工業高等専門学校) |
9. 九州支部 (北村 貴典 支部長)
1. 事業
- 1.1 2024年度 溶接学会九州支部研究発表会
- 主 催: 溶接学会九州支部
- 日 時: 2024年11月1日 (金) 9:30~16:50
- 場 所: Web会議と対面 (九州大学伊都キャンパス) のハイブリッド形式
- 参加者: 48名
- 研究発表: 15件 (研究題目と発表者 (○: 講演者) は下記の通り)
- 1) デジタル画像相関法を用いた両振り塑性域寸法の測定精度向上に向けた検討
○アキノトーレスルイス (九大), 村上幸治 (九大), 松田和貴 (九大), 後藤浩二 (九大)
 - 2) 構造用接着剤の船体防振カーリング接合への適用に関する基礎研究
○松田吉平 (九大), 鬼塚博之 (名村造船), 村上幸治 (九大), 松田和貴 (九大), 後藤浩二 (九大)
 - 3) WAAM方式による金属積層造形技術確立に向けた基礎検討
○井上 雄介, 松田和貴 (九大) 後藤浩二 (九大) 寺崎秀紀 (熊大)
 - 4) 炭素鋼の切欠靱性に及ぼす軸力圧縮予歪の影響
○荒金卓也 (長総大), 春山雄介 (長総大), 岡田公一 (長総大), 松岡和彦 (長総大), 谷野忠和 (久留米高専), 緒方洋典 (臼杵造船), 山本元道 (広大), 矢島 浩 (矢島材料強度研究所)
 - 5) 二相ステンレス鋼の溶接金属におよぼすティグ溶接条件の影響
○中野正大 (高田工業所), 山口ちひろ (高田工業所)
 - 6) 脱技能化を目指した溶接アルゴリズムの開発
○宮原 優 (カナデビア), 中野真克 (カナデビア), 安部正光 (カナデビア), 篠田 薫 (カナデビア)
 - 7) 【論文発表】ケミカルタンカーゴタンク十字溶接継手端部の応力集中に関する一考察
○春山雄介 (長総大), 荒金卓也 (長総大), 後藤優太 (臼杵造船), 石黒雄己 (臼杵造船), 緒方洋典 (臼杵造船), 岡田公一 (長総大), 谷野忠和 (久留米高専), 矢島 浩 (矢島材料強度研究所)
 - 8) 【論文発表】炭素鋼およびアルミニウム合金の引張強さに及ぼす大きな圧縮予歪の影響
○春山雄介 (長総大), 荒金卓也 (長総大), 岡田公一 (長総大), 松岡和彦 (長総大), 谷野忠和 (久留米高専), 緒方洋典 (臼杵造船), 山本元道 (広大), 矢島 浩 (矢島材料強度研究所)
 - 9) 鉄粉浸炭による炭素拡散領域の局所化に関する検討
○池上颯人 (久留米高専), 森園靖浩 (久留米高専), 山室賢輝 (熊大), 連川貞弘 (熊大)
 - 10) 梁フランジ大入熱多層溶接金属のミクロ組織評価
○齋藤純一 (熊大), 田中文也 (熊大), 寺崎秀紀 (熊大), 東南智之 (神戸製鋼所), 山口徹雄 (神戸製鋼所), 松本茂己 (神戸製鋼所), 梅本優也 (竹島鉄工建設), 中尾尊澄 (竹島鉄工建設), 竹島徹 (竹島鉄工建設), 馬場勇人 (ダイヘン), 恵良哲生 (ダイヘン)
 - 11) WAAMによるガードレール作製に関する研究
○甲斐和博 (熊大), 三城翔太 (熊大), 今村 仁 (熊大), 原 混我 (熊大), 寺崎秀紀 (熊大)
 - 12) 抵抗スポット溶接L字継手の初期折れ角度差, 板厚差, 鋼種組が継手強度に及ぼす影響

- 劉 淩江（九工大），北村貴典（九工大），高重太志（九工大）
- 13) 低強度ナゲットを用いた折れ変形誘導による抵抗スポット溶接L字継手の高強度化
○小林賢二郎（九工大），北村貴典（九工大），日高航太郎（九工大）
- 14) せん断とねじりの複合荷重下における抵抗スポット溶接継手の強度評価
○濱村瑞希（九工大），北村貴典（九工大），阿部壮人（九工大）
- 15) マグネシウム合金・アルミニウム合金の焼きばめによる接合時の はめあい条件が継手強度に与える影響
○三木修治（九工大），北村貴典（九工大）

1.2 研究会・施設見学会

若手会員の会と共催

日 時：2024年6月11日（火） 13:00～16:30

場 所：株式会社名村造船所 伊万里事業所（佐賀県）

参加者：20名（九州支部から15名）

- 1) 微小試験片による局所領域の破壊靱性評価手法
○清水 万真，庄司 博人，大畠 充（阪大）
- 2) カメラ画像を用いた検査および施工自動化技術
○丸本 啓太，山本 元道（広大）

1.3 刊行

出版物名：溶接学会九州支部講演論文集、第21号

2. 会務

2.1 2024年度 商議員会

2024年5月30日（Web会議）

上記以外に、表彰推薦関係、予算案等について書面回議を複数回実施

2.2 表彰

商議員の書面審議にて、以下の推薦・表彰を審議、承認。

溶接学術振興賞（推薦）：0名

溶接技術奨励賞（推薦）：1名

溶接技術普及賞（推薦）：2名

溶接学会奨学賞（推薦）：2名

九州支部奨学賞：0名

支部規定に沿って、以下の表彰を実施

九州支部優秀学生表彰：5名

2.3 2024年度 通常総会

日 時：2024年8月9日～8月21日（書面回議）

議事について異議無く承認された。